

## 行事に意味をもたせる

5月17日の金曜日、時折風の様子が気になる中、滑川市内7校の5、6年生が集う、滑川市学童体育大会が実施されました。本来ならば、前日の16日の木曜日に実施の予定でしたが、午後からの暴風雨が予想されていたため、順延の形をとりました。午前中はまさに運動会日和だったのですが、午後はものすごい風と雨になり、近頃の天気予報の正確さに感心するとともに、順延にしてよかったとつくづく感じました。保護者の皆様、2日間のお弁当の準備ありがとうございました。本校の子供たちは他校の子供たちに負けず、今もっているものを精一杯に出して、よく頑張ってくれたと思います。開閉会式で、整列場所までの移動の様子や並ぶ態度を見ていても、しっかり場をわきまえて真面目な態度で参加してくれたように思います。また、滑川市の歌や準備運動の声にしても、寺家小学校の声が間違いなく一番大きく、素敵に響いていました。大変うれしかったです(きっと他校の校長先生方も自分の学校が一番と考えられていると思いますが・・・)。子供たちの頑張りと同時に、本校の教員の適切な指導がありがたかったです。それに、テントの中にいる子供たちからの温かな応援の声が響いてくるなど、子供たち自身はどう意識しているか分かりませんが、それまでの練習も含めて意味のある機会になったと思います。

行事はやっつけ仕事で、ただ過ぎていくものにするくらいなら、やるに値しません。些細なことでも構いません。すべての子供が成長するということではないかもしれませんが、子供にとって意味のあるもの、ほんの少しの成長や自信となるものでなければならぬと思っています。以下に、学童体育大会で子供たちの様子を見ながら、そして終わってからの振り返りの中で考えたことを紹介します。

みなさんは何のために学校のグラウンドではなく、この陸上競技場に集まってきたのですか？私はこう考えます。まず、この素晴らしく整った環境の下、自分の力がどこまで伸びたのか、確かめてみるためだと思います。自分の力がどれくらいなのかは全力でやってみなければ分かりません。力は出し切った時、使い切った時に伸びると言われています。自分の中の1番の記録を目指して、もっている力の全てをぶつけるとともに、記録だけではなく、この機会に挑戦する力、あきらめずにがんばる力、仲間と関わる力等を併せて伸ばしてほしいと思います。

そして、もう一つは、他校にも自分と同じようにがんばる仲間がいることを知るためです。人より優れた力や記録をもっていることだけが素晴らしいではありません。最後まで粘ってがんばる仲間の姿に、たくさんの刺激をもらってください。そして、自然に「よくがんばった」と話しかけたり、「がんばれ」と応援したりすることができれば、なお素晴らしいと思います。

みなさんにとって、自分のがんばりに納得できる、充実した学童大会になるよう願っています。

子供たちの満足感や充実感はそれぞれに差はあるでしょうが、見栄えはよいが、子供たちの中にやらされたという気持ちが残る行事や活動にだけはしたくないと思います。これからまだまだ学校の活動は続きます。今後も子供たちの頑張る姿、悩む姿、立ち向かっていく姿にご声援よろしくお願ひします。

(校長 村杉 一也)